

超遠心分析法の基礎

超遠心分析法（AUC）は、溶液中の分子の絶対分子量の決定やコロイド安定性の評価が可能な、自然科学の第一原理に基づく強力な分析ツールの1つです。

本セミナーでは、AUCの基本原則、最新機種Optima AUCに搭載されたテクノロジーの概要、ナノ粒子、合成高分子ならびに生体高分子の解析事例などについてお話いただきます。

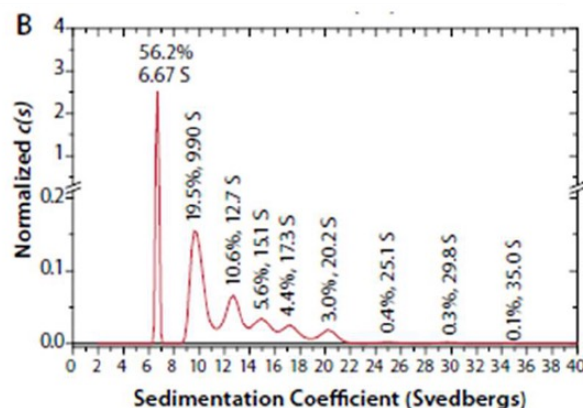
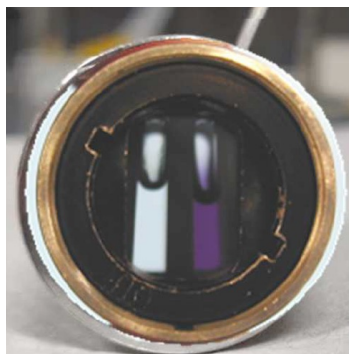
日時 令和6年7月5日（金）15:30～16:30（質疑応答含む）

会場 Zoomによるオンライン開催（要申込）

講師 村山 宗司 氏（ベックマン・コールター株式会社）

内容

- ◆ 沈降速度法(SV-AUC)：サンプル中の各分子種の沈降係数、絶対分子量ならびに成分比率を求めることができ、サンプルの純度検定や凝集体評価ができます。
- ◆ 沈降平衡法(SE-AUC)：溶液中の分子の絶対分子量を決定できます。さらに溶液中での解離会合定数を決定できます。
- ◆ サンプルは溶液そのままの状態で測定し数値解析により、分子量が求められます。
- ◆ 分子量1k～150Mまでの蛋白質、化合物ならびにそのその会合体や結合体が対象です。



(Arakawa, Philo, Tsumoto, Ejima, Arisaka, BioProcess, 2007)

【お申込み方法】氏名・所属を7/3（水）までにメールにてお知らせください
（件名は「超遠心セミナー参加希望」としてください）

【お問合せ、お申込み先】

研究基盤センターアイソトープ部門（csrea-isotope2@research.kobe-u.ac.jp）